

株式会社エフエム茶笛

平成 22 年度第 2 回番組審議会議事録

1. 開催年月日：平成 22 年 6 月 9 日（木）17 時 00 分～18 時 00 分

2. 開催場所：入間ケーブルテレビ株式会社 3 階 会議室

3. 委員の出席
委員総数：7 名
出席委員数：5 名
出席委員：大山博（番組審議委員会長） 水村雅啓
天野三千代 飯島静江 宮岡利雄
放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄
専務取締役 東 たか子
営業課長 宮岡 洋明

4. 議 題：番組内容について

5. 議事概要：議題に沿って各委員お一人お一人の放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

6. 審議内容

委員長：これより各委員からご意見をいただきますが、その前に、本日欠席の委員より伝言を預かっていますので、代読させていただきます。

(以下、代読) トークのスピードが遅くなって、全体的に聴きやすくなりました。一方で、音楽の聴こえ方が、低音が強い感があります。トークのBGMの音楽は耳障りな時があります、とのこと。

事業者：送出系の新しい機材を導入した影響かと思います。当社放送の音量を基準値に補正し、聴き応えのある音質へと向上させました。反面、スタジオでのトークとBGMのバランス調整の“さじ加減”が、以前と異なってしまったようです。

委員：私は特に感じたことはありません。

事業者：いずれにしましても、特に生放送でスタジオを使用する関係スタッフには、ご意見を周知し、改善に努めさせていただきます。

委員長：では、続いて出席委員より、ご意見をどうぞ。

委員：番組によっては、地域の文化財や伝統について詳しく紹介するものがあって、聴き応えがありました。インターネット等では見つけられない情報も採り上げられていて嬉しい思いです。新番組「月刊チャッピー増刊号」は、インタビュー等の取材がメインですが、中には（1つのインタビューの）時間が長すぎたり、出演者の声が遠くて聴きとりづらかったりするものもあります。また、日曜 15 時からの「のこぎり屋根とその仲間たち」は、番組内容が以前に比べて大きく向上しました。

事業者：インタビューの長さ、マイクの当て方については、スタッフへ指導致します。

委員：それから、パーソナリティやレポーターが更新しているブログを楽しみに読んでいます。先日も、ある百貨店のレストランで「エフエム茶笛を聴きました」と言えば割引するという情報が更新されていました。

事業者：その日の放送内容に連動する情報や画像を、生放送の番組前後に各パーソナリティ自身がブログで更新しています。

委員：そのように、FM放送とブログの連携は今後も続けていただきたいです。

委員：私も、先日ラジオのスイッチを付けたところ77.7MHzに合わせていたのですが、しゃべり方のリズムや番組のテンポに大手ラジオ局の雰囲気を感じ、嬉しく思いました。ホームページも充実しているので、放送とウェブを立体的に展開して、より多くのリスナーを掴んでほしいと思います。

この放送局は町づくりをしていくための放送局だと思いますので、政治的な部分ではなく、ラジオ局も協力して町づくりに関わっていくという気概をもって事業に取り組んでいただきたいと思います。

委員長：出席委員の皆様ありがとうございました。これにて議事を終了させていただきます。

(以上で議事終了)

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
トークとBGMの音量バランスについて、調整を対応する。	社員会議にて社員へ指導。 番組パーソナリティについては、社員から口頭で指示ならびに直接指導により改善。	平成22年6月11日
インタビュー取材時の放送時間の長さ、ならびにマイクの当て方について、聴きやすい番組制作を図る。	社員会議で社員へ指導。 インタビュー編集方針と取材機器の使用方法をあらためて社内で確認。	平成22年6月11日